

No	区分	事業名	事業概要	交付対象事業費 (円)	KPI	目標値	実績値	実施計画と比較した現況・課題の把握	担当課
1	単独	桜を起点としたデジタル誘客・消費喚起事業【2年目・旧制度】 R6～8年度	①「田村の美桜88景」デジタルスタンプラリー事業 1年目のデータに基づいた来訪者の関心層や消費傾向を分析し、さらなる消費に繋がりうる仕掛けづくりを図る。 ②台湾インバウンドプロモーション事業 1年目に引き続き、WEB広告(樂吃購)やインフルエンサーによる情報発信を図り需要調査を実施しつつ、インセンティブ付きのアンケート調査等による詳細なデータ収集を図る。また、台湾現地の各種旅行事業者へ、市内の観光事業者が赴いてセールスコールを実施することや、台湾旅行会社を当市へ招聘してFAMツアーを実施することで、結びつきを強めて交流を推進する。 ③閑散期誘客フォトラリー事業 1年目に引き続き、当市の観光閑散期にあたる秋冬の新たな観光資源の発掘調査としてフォトラリーを実施。また、1年目に発掘された観光資源を厳選し、②のインバウンドプロモーションに向けても需要調査を実施。	17,100,000	①地域における観光消費額(円)	4,000,000	4,520,666	①「田村の美桜88景」デジタルスタンプラリー美桜の時期及びその後の周遊効果により、地域における観光消費額、参加者数が順調に対前年比で伸びるなど、消費増に繋がる結果となった。この状況を継続していく。 ②台湾インバウンドプロモーション事業 インフルエンサーによる情報発信、アンケート調査、FAMツアーなどを実施し、台湾人観光客入込数が増加した。しかし、インフルエンサー・樂吃購を通しての来訪と限定した場合、目標値までは届かず、対前年比微増にとどまった。これらの媒体を効果的に活用するよう改善していく。 ③閑散期誘客フォトラリー事業 飲食店フォトを要件に組み入れた結果、ハードルが上がり参加者数が伸び悩んだ。飲食店と連携し、参加者増に繋がるサービスを提供するよう改善していく。	観光交流課
					②インフルエンサー・樂吃購を通して来訪した台湾人観光客入込数(人)	30	18		
					③デジタルスタンプラリー参加に伴う観光消費額(円)	75,000	406,500		
					④デジタルスタンプラリー・フォトラリー参加者数(人)	500	271		
2	広域	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタルシティプロモーション事業【5年目・旧制度】 R3～7年度	①SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 恋人の聖地加盟自治体が参加するYouTube「グルメ甲子園」にてタレントと共に市特産品の情報発信を行う。 ②広域市町村連携シティプロモーション事業 昆虫を核としたブランディング事業を実施。市内の観光資源をバーチャル空間で再現したオリジナルゲームのタムコンを開発。また、交流人口拡大に向けた体験型観光やモニターツアーを実施。 ③地域産業拡大事業 地域のリーダーとなる産業人材を育むため、第10期産業人材育成塾を開催。 ④情報ネットワーク・地域活性化事業 運用支援ツールを活用し、市公式LINEの機能を充実させ、効果的に情報を発信する。また、デジタルコンテンツによる効果的なプロモーションを実施する。	41,785,000	①観光入込数 増加分(人)	2,717,000	2,016,536 市(333,082)	①SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業、②広域市町村連携シティプロモーション事業、③地域産業拡大事業、④情報ネットワーク・地域活性化事業を広域連携で実施した結果、観光入込数は目標値まで届かなかったが、ポータルプラットフォームへの投稿数、メディア掲載数は目標を上回った。田村市においては、「恋人の聖地」観光入込数が対前年比18,599人増加で333,082人、ポータルプラットフォームへの投稿数が微増で16件、メディア掲載数が微増で32件であった。引き続き広報を強化し、観光入込数を伸ばすよう改善していく。	観光交流課 商工課 総務課
					②ポータルプラットフォームへの投稿数(件)	1,080	2,985 市(16)		
					③メディア掲載数(件)	432	1,449 市(32)		
3	広域	魅力発見。ふくしまローカル鉄道活用事業【1年目】 R7～8年度	①団体臨時列車運行事業 団体臨時列車を運行することで、沿線住民に磐越東線の取組を知っていただき、マイレール意識の醸成や利用促進及び地域経済の活性化につなげていく。「磐越東線の利用促進に自分事として取り組む住民」を増やすことが重要であるため、行政だけの取組とならないよう、沿線の商工会などを巻き込み、団体臨時列車でのおもてなしや、地域経済の活性化につながるような取組の検討等を官民連携で行う。 ②駅開業110周年記念事業 「コンパクトシティ+ネットワーク」を構築することにより、人口減少・少子高齢化の中でも地域の住民がそれぞれ役割を持っていきいきと暮らし、居心地が良く、貴重な資源や魅力を生かした「ワクワク」する地域づくりにより世代や地域間の交流を促進し、市民がまちづくりに主体的に関わる気運の醸成を目指し、市内3駅(船引駅、大越駅、神俣駅)が2025年に駅開業110周年を迎えることから、地域資源である駅にフォーカスした今と昔を比較した写真展などの企画を実施する。	3,368,000	①地域の人口・世帯数(人・世帯)	157,986	151,818	①団体臨時列車運行事業 県内外から62名の参加があり、磐越東線の魅力発信を行った。商工会と連携し、地元産品の物販を行ったが、団体臨時運行時のみの取組となったことから、地域経済の活性化につながる取組の検討が必要である。 ②駅開業110周年記念事業 団体臨時列車運行に合わせて今昔写真の掲示及び記念資料の展示を行った。県内外の方に磐越東線の魅力を発信できたが、地域住民にマイレール意識をもってもらえるよう、周年記念事業等を定期的に取り組む必要がある。	企画調整課
					②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合(%)	27.1	38.7		
					③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合(%)	70	65.2		
4	単独	あぶくま洞観光拠点整備事業【1年目】 R7～9年度	・田村市全域の観光拠点整備による市内周遊促進、滞在時間の延伸及び観光消費額の増加を図る。 ・「食」の観光拠点整備によるリピーターの創出、田村市産品の安全性の発信力強化及び観光消費額の増加を図る。 ・インバウンド、高齢者等の受け入れ態勢強化による、誰もが平等に観光を楽しめる環境の提供を図る。 【実施設計】 初年度は、実施設計を行い、整備内容の精査を行い全体事業費を把握し、建設に向けた課題を解決する。 【整備内容】 ①観光拠点施設(観光情報ギャラリー・カフェ・レストラン・お土産販売ショップ)、②もぎりゲート、③エスカレーター、④エレベーター、⑤スカイテラス	30,911,000	①地域における観光消費額(千円)	※施設整備後の2027年度以降に増加を見込む	※施設整備後の2027年度以降に増加を見込む	令和7年度に実施設計が完了する予定だったが、地盤の空洞に対する地盤沈下調査の必要性が生じ、委託期間を令和8年5月31日まで延長したため、スケジュールに若干の遅れが生じた。	観光交流課
					②カフェ・レストラン利用率(%)				
					③敷地内キャッシュレス決済額(千円)				
					②カフェ・レストラン利用率(%)				